



WEEKLY REPORT

第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

創立/1986年2月19日 (会長)久保 司 (幹事)渡邊 裕之
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン Tel(03)3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-26-109 Tel(03)3985-7577 Fax(03)3590-6644
 HP/http://www.toshimah-rc.jp E-mail/info@toshimah-rc.jp

◎本日の例会 1165回 2010年9月22日

卓 話 犯罪情勢について
 巢鴨警察署
 生活安全課長 滝川重美氏
 紹介者 緒方晴夫会員

◎前回の例会 1164回 2010年9月15日

幹事報告

- ①本日、財務委員会を開催致しました。
 創立 25 周年の予算として 350 万円をクラブ基金より取崩しを承認。事務局のOA機器老朽化による機器の入れ替えについても承認をして頂きました。
- ②今年度東京小石川ロータリークラブが創立 40 周年を迎えます。ついては 2010 年 10 月 22 日にフォーシーズンホテル椿山荘において櫻井よしこ氏を迎えて記念講演を開催いたしますのでとの案内が来ております。
- ③ジュニアカウンセラー（ローテックスの卓話）について各クラブにおいて、ローテックスの卓話を青少年交換の一貫として卓話者として呼んでいただきたいとの鯉江地区国際奉仕委員長より依頼が来ております。
- ④地区ローターアクトの地区招待行事として『山手線ツアー10』を開催致しますので多くの皆様にご参加して下さいとの案内が来ております。
- ⑤9月22日 11時30分より25周年記念実行委員会を開催予定。

■ゲスト

月井会員ゲスト 吉村孝秀様

■出席報告

会 員	出席率 参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	9月1日分 修正 出席率
42名	39名	22名	17名	56.41%	87.18%

ニコニコ BOX

米倉様/何十回の誕生祝いか忘れましたが・・・
 お祝いを有難うございます。
 私からの誕生祝いはカットしました。

◎次回の例会 1166回 2010年9月29日

卓 話 本年度の地区青少年育成委員会について
 地区青少年育成委員会
 カウンセラー 前川昭一氏
 紹介者 稲川 一会員



懇親ゴルフ分区予選会報告

於：取手国際ゴルフ倶楽部

9月14日後楽RCのホストで地区懇親ゴルフ北分区予選会が開催され、当クラブからも7名の精鋭が参加しましたが、団体戦は振るいませんでしたが、個人戦で稲川キャプテンが孤軍奮闘しトップと0.2ストローク差で優勝は逃しましたが、見事2位に入賞、稲川・村山両氏がニアピンをゲット致しました。新ペリアのため順位には恵まれませんでしたが、前田会員はグロス80の好スコアでした。ちなみに、参加賞もなく家族への土産もない一日で、多少暑さは和らぎましたが疲れました。



参加者
 安齋会員・浅原会員
 稲川会員・前田会員
 村山会員・佐野会員
 佐々木会員



会場の様子



稲川夫人・月井夫人・浅原夫人



マジシャンのお二人？



米倉会員ご夫妻



鈴木純子さん



榊原会員



月井夫人



浅原会員



村上夫人



山元夫人



緒方会員

新世代がロータリーの新たな奉仕部門に

記事：Ryan Hyland

国際ロータリー・ニュース：2010年9月14日（抜粋）
9月は「新世代月間」ですが、今年の「新世代月間」は以前とは違う意味を持っています。

去る4月の規定審議会で新世代奉仕が第五の奉仕部門と決定されたことにより、若者たちをロータリーに積極的に参加させるというロータリーの誓いは以前にも増して強いものとなりました。

クリングスミス RI 会長は、新奉仕部門により、ロータリーの青少年プログラムの価値と、ロータリーの未来へのその貢献度が高まると述べています。

「規定審議会が意図していたのは、新世代プログラムにクラブの目を向けるということです」と会長は語ります。「ロータリアンは、これらのプログラムの大切さをはっきりと認めたいと思っています。新世代が大切なのは、ロータリーの未来にとってばかりでなく、私たちの地域社会や世界全体にとっても言えることです」

第五の奉仕部門となる新世代奉仕は、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年と若者によって好ましい変化をもたらすことを認識するものです。新世代プログラムには RYLA、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年交換があります。

クリングスミス会長はさらに次のように述べています。

「私たちの青少年プログラムは間違いなく世界で傑出したものです。そして、その価値はこれからますます高まっていくでしょう。既に秀逸したこれらのプログラムで私たちがしなければならないのは、それをもっと世界にアピールすることなのです。」